

## 徳島市公の施設指定管理制度導入に対する評価

評価期間:令和6年4月1日～令和7年3月31日

施設名	徳島ガラススタジオ		
指定管理者	徳島市文化振興公社	担当課	文化スポーツ振興課
指定期間	R2.4.1～R7.3.31	公募・非公募の別	公募
施設の所在地	徳島市勝占町中須78番地の4	事業の概要	徳島ガラススタジオの管理運営業務 ・設備貸出業務 ・設備等の保守・点検業務 ・ガラスワークショップ開催 ・ガラス工芸体験開催 ・自主事業(セミナー・ワークショップ・材料頒布)
施設の概要	開館時間 9:00～17:00 休館日 12月29日～1月3日 展示フロア、吹き場、工作室		

	項目名	令和5年度	令和6年度	項目名	令和5年度	令和6年度
利用状況に関する こと	来館者数	6,840人	7,123人	自主事業参加件数	1,038件	841件
	設備利用件数	368件	271件	事業開催数	68回	56回
	受講者数	3,423人	3,293人			
	体験件数	1,207件	1,403件			
収支状況に関する こと	指定管理料	17,102千円	17,102千円	人件費	14,637千円	9,196千円
	利用料収入	526千円	397千円	管理費	12,811千円	14,899千円
	その他収入	9,803千円	9,358千円	その他	千円	千円
	収入実績(総額)	27,431千円	26,857千円	支出実績(総額)	27,448千円	24,095千円

評価基準・評価項目		指定管理者自己評価コメント	担当課評価
施設管理 体制	(1) 法令等遵守	法令・徳島市条例・指定管理の要求水準書などを遵守し、安心・安全な施設管理運営ができて いる。 職員配置については、4月時点で講師1名欠員、7月時点で2名欠員となってしまったが、指 導に係る業務補助により、大きな混乱なく対応できた。 施設内の設備状況やワークショップの内容等については、毎月の職員会議で話し合っており、 施設の特性上、防火管理者の有資格者を配置している。 利用促進の取り組みとして、ミニワークショップ、ふれあい健康館でのガラスアートフェスタ などを積極的に開催し、若い世代へのガラス工芸の普及に取り組んでいる。	A
	(2) 職員配置		
	(3) 職員研修		
	(4) 利用促進の取組み		
	(5) 設備・備品管理		
	(6) 安全管理体制		
	(7) 緊急時の体制		
業務 利用者に関する	(1) 利用状況	ガラスワークショップについて、前年度は夏の暑い時期に講座を開催した結果、 受講者が減ったため、今年度は吹き講座については開催時期を見直した。 ガラス体験において、県外や若い世代の利用促進のため、引き続きインターネット 体験予約サイト「アソビュー」を活用しており、利便性の向上を図っている。	A
	(2) 平等な利用		
	(3) 利用料金		
	(4) 接客対応		
	(5) 個人情報保護		
	(6) サービス向上の取組		
施設管理 業務維持	(1) 保守点検業務	機器等設備の保守点検は全て予定どおり実施、施設の特性上、日常の職員の館内点検が非 常に重要であるが、修繕が必要と思われる箇所を早期に発見し、緊急性が高いものから対 応している。また、適切な清掃により、館内の衛生を保っている。	A
	(2) 清掃等維持管理業務		
	(3) 修繕等維持管理		
事業 実施	(1) 企画運営事業	ガラス作品への興味喚起のため実施した徳島ガラスまつりは、6年度は勝占コミュニティセンターのイ ベントと同時開始とし、多くの来場があった。また、作品鑑賞の機会を増やす目的で開催して いる移動ガラス作品展も好評を得ている。	A
	(2) 自主事業		
経理 状況	(1) 施設収支状況	経費の大部分を占める光熱費等の物価高騰により収支状況の悪化が懸念されたが、 徳島市指定管理業務継続支援金があって、赤字幅を縮小させることができた。 今後も燃料費を含め物価の高騰が予想されるため、利用者に影響を与えない程度に、引き 続き効率的な管理運営を実施する。	A
	(2) 指定管理者経営状況		
	(3) 経費の縮減		
評価基準		S:優れている（協定書、仕様書、事業計画書より優れた管理が行われた。） A:適正に管理されている（協定書、仕様書、事業計画書に沿った管理が行われた。） B:一部に改善を要する（協定書、仕様書、事業計画書に記載の一部が実施されなかった。） C:多くに改善を要する（協定書、仕様書、事業計画書に記載の多くの内容が実施されなかった。）	

担当課総合評価コメント		総合評価
関係法令や条例などを遵守し、おおむね適正に管理運営が行われている。職員配置については、講師が欠員となっているが、利用者へのサービス低下がないよう努めてほしい。利用促進に取組み、今後のさらなるガラス工芸の普及に期待したい。		A
総合評価基準		S:優れている(各評価基準ごとの担当課評価にSがあり、その他はAである。) A:適正に管理されている(各評価基準ごとの担当課評価が全てAである。) B:一部に改善を要する(各評価基準ごとの担当課評価にBがあり、Cはない。) C:多くに改善を要する(各評価基準ごとの担当課評価にCがある。)